

厚生労働省和歌山労働局発表

平成23年7月1日

午後2時

担当

厚生労働省和歌山労働局

職業安定部職業安定課

課長 山下 博己

労働市場情報官 石川 正義

TEL 073-488-1160

FAX 073-475-0115

一般職業紹介状況(平成23年5月分)

有効求人倍率(季節調整値)は、前月と同水準の0.71倍となった。

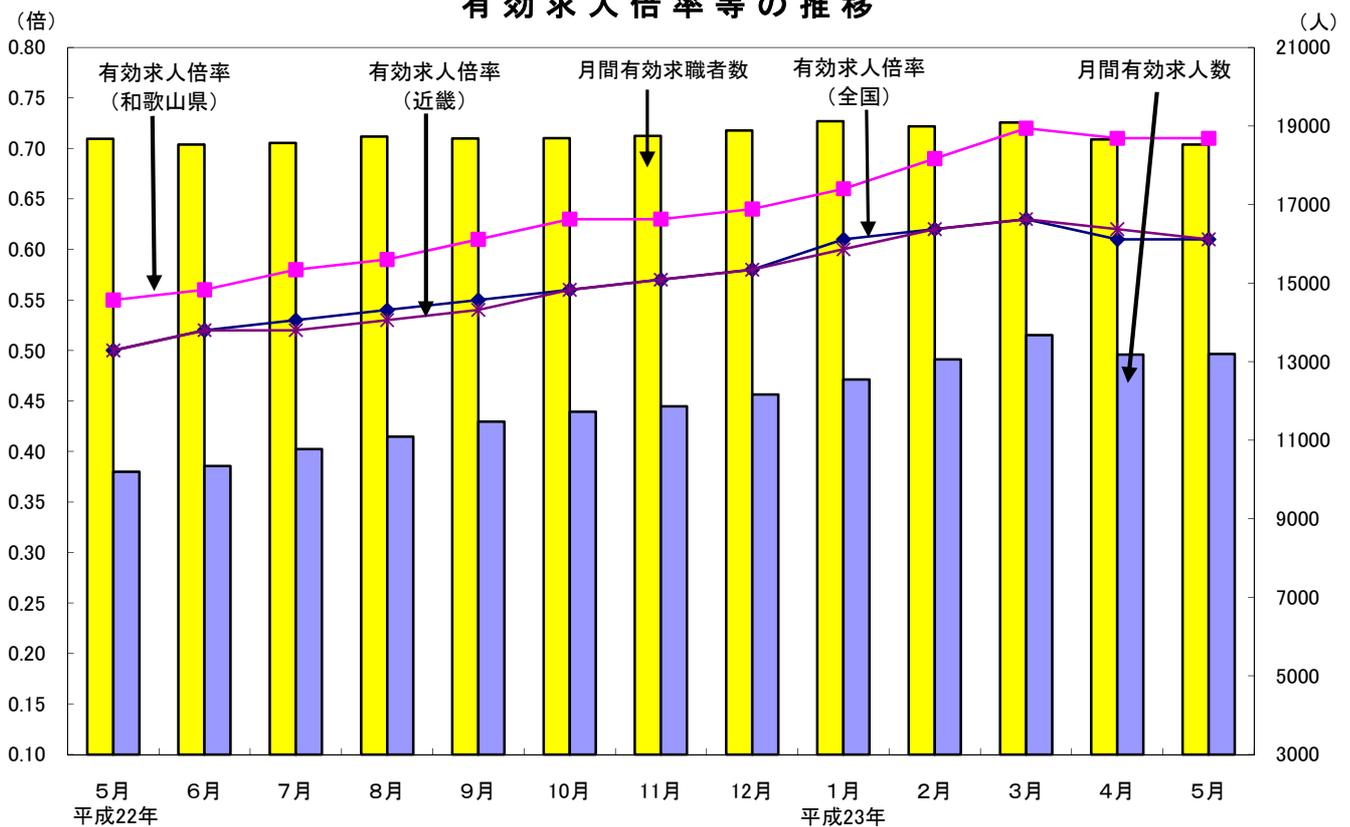
全国の有効求人倍率(季節調整値)は0.61倍で、前月と同水準。

近畿の有効求人倍率(季節調整値)は0.61倍で、前月より0.01ポイント低下。

新規求人倍率(季節調整値)は1.13倍で、前月より0.01ポイント上昇。

- ◎ 新規求人数(原数値)は対前年同月比24.3%増。
- ◎ 新規求職者数(原数値)は対前年同月比0.9%増。

有効求人倍率等の推移



(注) 有効求人倍率、月間有効求人数及び月間有効求職者数はすべて季節調整値。
季節調整値の平成22年12月以前の数値は新季節指数により改訂済。
有効求人倍率(折れ線グラフ)は左目盛。月間有効求人数及び月間有効求職者数(棒グラフ)は右目盛。

1 求人倍率の動き

新規求人倍率(季節調整値)は前月より0.01ポイント上昇の1.13倍で、2か月ぶりに前月を上回った。

有効求人倍率(季節調整値)は0.71倍となり、前月と同水準となった。

正社員有効求人倍率(原数値)は前年同月より0.07ポイント上昇の0.32倍で、11か月連続で前年同月を上回った。

2 求人の動き

(1) 新規求人数(原数値)は5,022人で、前年同月比24.3%増(15か月連続増)となった。
有効求人数(原数値)は12,586人で、前年同月比29.5%増(13か月連続増)となった。

(2) 主な産業別に新規求人の増減(前年同月差)をみると、
「卸売業,小売業」(280人増)、「運輸業,郵便業」(184人増)、「医療,福祉」(183人増)、
「農,林,漁業」(94人増)、「生活関連サービス業,娯楽業」(77人増)、「製造業」(66人増)などで増加し、一方、「金融業,保険業」(57人減)などは減少した。

(3) 一般、パート別で新規求人の状況をみると、一般求人数は2,801人で前年同月比13.0%増、パート求人数は2,221人で前年同月比42.4%増となった。

3 求職者の動き

(1) 新規求職者数(原数値)は4,982人で、前年同月比0.9%増(2か月ぶり増)となった。
有効求職者数(原数値)は20,182人で、前年同月比0.4%減(2か月連続減)となった。

(2) 新規求職者(パートを含む常用)を態様別にみると、在職者は812人で前年同月比8.0%減(31か月ぶり減)、離職者は2,988人で同5.7%減(4か月連続減)となり、離職者のうち事業主都合離職は799人で同15.6%減(12か月連続減)、自己都合離職は1,960人で同1.9%減(2か月連続減)、また、無業者は1,069人で同38.3%増(24か月連続増)となった。

(3) 雇用保険の受給者実人員は4,482人で、前年同月比0.5%減(15か月連続減)となった。

4 就職者数の動き

安定所の紹介による就職者数は1,792人で、前年同月比9.8%増(2か月ぶり増)となった。

5 まとめ

正社員有効求人倍率が連続して前年を上回っているが、未だ低水準であることや有効求職者数が高水準で推移していることなど厳しい状況にあるが、求人数の動向などに明るい要素が継続してみられることから、雇用情勢は依然として厳しい状況にあるが、持ち直しの動きが続いている。